

第43回 歴史散策：伏見を訪ねて

平成29年5月19日（金）、親鴨関西支部恒例の歴史散策を実施しました。今回は平安から明治まで、伏見を駆け抜けた歴史のあとを訪ねました。

快晴。午前9時30分、近鉄京都線「丹波橋」駅に集合。今日の参加者は総勢十名。

まず駅からすぐ近く、静寂な緑の樹木の中を歩き、**桓武天皇陵**へ。8世紀末、京都に平安京を開かれた第50代天皇の御陵です。

続いてすぐ近くの**伏見桃山城**へ。

最初のお城は1592年に豊臣秀吉が隠居後の住まいとして築城しましたが、慶長伏見地震によって倒壊。その後再築された城も焼失。

現在のお城は、1964年遊園地・伏見桃山城キャッスルランドとして、洛中洛外図に描



かれた伏見城を参考にして構築されました。美しいお城です。

お城を背景に記念写真。

左より（敬称略）大平、村田（秀）、有賀、下垣、入田、今中、榊井、西田、生田、西野（信）さん。

お城から歩いて15分、**明治天皇伏見桃山陵**、**昭憲皇太后伏見桃山東陵**へお参り。

明治45年崩御。墳丘は天智天皇陵をモデルにした上円下方墳。遺言により京都伏見に構築されました。広大な緑溢れた御陵です。



明治天皇陵の近くに**乃木神社**があります。

乃木神社の祭神は乃木希典、その妻・乃木静子。

明治天皇崩御に際し乃木大将夫妻は殉死を遂げました。



御香宮神社

乃木神社から伏見町中へ。名水百選に選ばれた清泉の湧き出る、**御香宮神社**を訪ねました。
徳川家康の命で建立された極彩色彫刻の本殿は重要文化財です。
境内で冷たい名水をいただきました。

ちょうどお昼、近鉄桃山御陵前駅の近くの中華料理店「眠眠」で昼食。

昼食後南西へ5分、**東本願寺伏見別院**。

江戸時代初期、本願寺12世教如上人が徳川家康の助けで本願寺伏見別院を建立、この寺を拠点として本願寺（西本願寺）から東本願寺を分派独立させました。今は小さな別院となっていますが、由緒ある寺院です。



東本願寺伏見別院

さらに南へ歩いて15分。寺田屋へ。

坂本龍馬がこの宿屋で伏見奉行により襲われ、辛うじて逃げ出したことで有名な宿です。いまも旅館を営業していました。お庭はオープンで竜馬の像、竜馬の忠魂碑、寺田屋の女将お登勢を祀るお登勢明神など幕末に関する碑がいくつも建っており、観光客で賑わっていました。



寺田屋

すぐ南には宇治川の分流が流れており、観光用に十石船が運営されています。

早速乗船しました。

けっこう満席。

五月の川風、そして、緑の岸辺。快適な舟遊びを楽しみました。

伏見は、浪速からの三十石



十石船



十石船

船、京都からの高瀬舟による人、物の交流が盛んで、江戸時代から明治初期にかけて非常に賑わった港だったようです。

川沿いに、**月桂冠大倉記念館**があります。明治期建造の酒蔵を改装した博物館、日本酒の歴史・文化を紹介しています。ロビーで三種のお酒をきき酒。土産品売り場もあり、お酒や酒粕、酒饅頭など買っている人も多くいます。

月桂冠記念館で今日の歴史散策を終了。

有志で、近くの「鳥せい本店」にて今日の締めくくり。まだ夕暮れ前、明るいのに店は女性中心に賑わっていました。焼き鳥で飲むビール。楽しい一日を振り返りました。



月桂冠

文責：西田義雄